

## システム要望書

### 進級・卒業（修了）判定システム

弊社営業部の努力により，高等教育機関（大学・大学院）向けの履修管理システムの一部を受注した．開発するシステムは別途準備されている学務情報システムと連携し，学生が卒業研究等の着手条件がある科目への履修登録（結果として進級判定となる）の可否を判定すると同時に，学生が卒業・修了条件<sup>1</sup>を満たしているかどうかを 3 段階で判定するシステムである．また，単なる判定システムでなく，学年別主席判定，総合及び科目群別 GPA の算出推移表示など，教員の履修指導を補助する総合的なシステムの設計・開発を目標とする．

#### 1. 前提事項

- 1.1. 本システムは，年度ごとの開講科目情報，学生情報，履修登録情報，成績情報を格納した学務情報システムのフロントエンドとして動作する．
- 1.2. 本システムを利用するにはログインを必要とし，ログイン権限は学生，教員，事務職員の 3 種類を基本とする．
- 1.3. 学生権限でログインすると，現在までの成績情報（GPA 含む）の閲覧が可能であり，卒業研究等の着手条件を満たしているか否かを確認することができる．
- 1.4. 教員権限でログインすると，ログイン時点における学生の成績情報（GPA 含む）の閲覧が可能であり，卒業研究等の着手条件を満たしているか否か，卒業条件を満たしているか否かを確認することができる．なお，成績情報は学務情報システムに格納されており，本システムから入力することは考えなくてよい．
- 1.5. 事務職員権限でログインすると，ログイン時点における学生の成績情報（GPA 含む）の閲覧が可能であり，卒業研究等の着手条件を満たしているか否か，卒業条件を満たしているか否かを確認することができる．
- 1.6. 学務情報システムには，各開講科目について，開講年度，科目区分（基礎教育科目・専門科目，必修科目・選択科目の別等），履修可能学部・学科等，履修学生，成績素点が格納されている．
- 1.7. 学生情報（学籍番号，氏名，現住所，各種学内情報システムへのログイン ID 等）は，学務情報システムとは別の学生情報システムに格納されており，必要に応じ学務情報システムから参照することができる．
- 1.8. 各年度における開講科目等は学務情報システムに格納されているが，これらの情報は事務職員のみ入力することができる．
- 1.9. 科目登録・修正や成績入力は，決められた期限にしか行うことができないが，本システムによる卒

---

<sup>1</sup> 必要単位を取得し学修を終えることを学部では「卒業」，大学院では「修了」という．

業研究着手や卒業・修了の可否については、確認時点での最新情報に基づいて行う。

## 2. 必須事項

### 2.1. 学生権限

- 2.1.1. ログイン時点までに履修登録したすべての科目について、成績を秀（90 点以上）、優（80 点以上 90 点未満）、良（70 点以上 80 点未満）、可（60 点以上 70 点未満）、可（再）（60 点）、否（60 点未満）、出席不足、未受験の 8 種類で確認できること。なお、可（再）は再試で合格した場合を表し、学務情報システム上、出席不足の科目の成績は 999、未受験科目の成績は 333 で登録されている。また、履修中で成績が登録されていない科目は「履修中」とすること。
- 2.1.2. 現在までの GPA を半期ごとに、全科目、基礎教育科目、専門科目の 3 種類で確認できること。なお、GPA は以下の式で定義される。

$$GPA = \frac{\sum \text{登録科目の GP} \times \text{当該科目の単位数}}{\text{登録科目の単位数の合計}},$$

$$GP = \frac{\text{登録科目の評価点} - 54.5}{10}.$$

- 2.1.3. 卒業研究等の着手条件が設定されている科目に登録できるか（進級できるか）否か、確認できること。
- 2.1.4. 卒業研究等の着手条件が設定されている科目に登録（進級する）ために必要な科目を確認できること。
- 2.1.5. 卒業・修了について、合、否、保留の 3 種類の判定結果が確認できること。なお、「保留」は宮崎大学工学部専門科目履修規程第 8 条に該当する者に対する判定である。
- 2.1.6. 同一年度に入学した学生のうち、自分の席次が何位であるか、現在までの GPA（全科目）に基づき確認できること。

### 2.2. 教員権限

- 2.2.1. 教員のうち、学科（プログラム）長、教務委員の職にある教員は、すべての学生の履修状況を確認できること。
- 2.2.2. 教員のうち、学年担任、および同副担任の職にある教員は、担当する学年の学生の履修状況を確認できること。
- 2.2.3. 学科（プログラム）長、教務委員、学年担任、同副担任は、進級、または卒業（修了）するために登録が必要な科目について、学生毎に確認できること。
- 2.2.4. 教員のうち、学科（プログラム）長、教員委員の職にある教員は、進級判定、および卒業（修了）判定にかかる年次のすべての学生について、一覧形式、および学生個人毎に進級の可否を確認できること。
- 2.2.5. 教員のうち、学年担任、および同副担任の職にある教員は、担当する学年の学生の進級判定、お

および卒業（修了）判定を、一覧形式、および学生個人毎に確認できること。

### 2.3. 事務職員権限

2.3.1. すべての学生の履修状況を確認できること。

2.3.2. 進級判定、および卒業（修了）判定にかかる年次のすべての学生について、一覧形式、および学生個人毎に進級の可否を確認できること。

## 3. オプション機能

3.1. 教員、事務職員は、学年毎に成績を GPA 順にソートして確認できる。

3.2. 教員、事務職員が学生の成績を確認する場合、同一科目を異なる年度で受講した場合、各年度での成績を確認できるとよい。これが難しい場合は、確認時点で確定している成績のみでもよい。

3.3. 事務職員は学科（プログラム）別、専攻（分野）毎に、標準年限での卒業（修了）者数、卒業（修了）保留者数、留年者数を示した一覧表を作成できる。

3.4. 履修状況を確認する際に、入試区分（推薦入試、総合選抜、前期日程、後期日程、編入試（推薦、一般）、私費外国人）毎に表示することができる。可能であれば、入試における得点率も計算できるとよい。

3.5. 学生毎の履修状況や学年毎の履修状況の一覧について、後ほどの加工がしやすいよう CSV 形式のファイルでエクスポートすることができる。

3.6. 学生毎の進路（就職、進学、および就職・進学先）を記録することができる。進路の入力は、学生、就職担当教員の双方ができるとよい。

3.7. 進路の入力は、就職であれば別表 1 に示す進路区分、就職・進学先名、就職・進学先所在地県名、別表 2 に示す産業区分、別表 3 に示す職種とする。

3.8. 専門科目の GPA 計算において、学期ごとに工学基礎科目、専門必修科目、専門選択科目に分けて計算できるとよい。

## 4. その他

4.1. 基礎教育科目・専門科目、選択・必修の別は宮崎大学工学部情報システム工学科、あるいは情報通信工学プログラムによる。

4.2. 基礎教育科目は、卒業研究着手要件や卒業要件を満たしているか適切に判断できるよう分類され、分類ごとに必要な単位数が設定されていること。

4.3. 各年度で開講科目や卒業研究着手要件、卒業要件の変更に対応できるよう設計されており、それらの変更は事務職員権限で容易に行える必要がある。

4.4. 卒業・修了判定にかかる一覧表は、適切なタイトルが付与され、入学年度ごとに分けて作成できること。

別表 1 進路区分

大学院研究科
大学学部
短期大学本科
専攻科
別科
正規の職員・従業員・自営業主等
正規の職員ではない者、雇用契約が 1 年以上かつフルタイム勤務担当の者
臨床研修医（予定者を含む）
専修学校・外国の学校等入学者
一時的な仕事に就いた者、雇用契約が一年未満又は短時間勤務の者
左記以外（進学準備中の者）
左記以外（就職準備中の者）
左記以外（その他）
死亡・不詳の者

別表 2 産業区分

A 農業・林業
B 漁業
C 鉱業・採石業、砂利再採取業
D 建設業
E1 食料品・飲料・たばこ・飼料製造業
E2 繊維工業
E3 印刷・同関連業
E4 化学工業、石油・石炭製品製造業
E5 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業
E6 はん用・生産用・業務用機械器具製造業
E7 電子部品・デバイス・電子回路製造業
E8 電気・情報通信機械器具製造業
E9 輸送用機械器具製造業
E10 その他の製造業
F 電気・ガス・熱供給・水道業
G 情報通信業
H 運輸業・郵便業
I1 卸売業
I2 小売業
J1 金融業

J2 保険業
K1 不動産取引・賃貸・管理業
K2 物品賃貸業
L1 学術・開発研究機関
L2 法務
L3 その他の専門・技術サービス業
M 宿泊業・飲食サービス業
N 生活関連サービス業・娯楽業
O1 学校教育
O2 その他の教育・学習支援業
P1 医療業・保健衛生
P2 社会保険・社会福祉・介護事業
Q 複合サービス事業
R1 宗教
R2 その他のサービス業
S1 国家公務
S2 地方公務
左記以外

別表 3 職種一覧

a 管理的職業従事者
b1 研究者
b2 農林水産技術者
b3 機械 製造技術者（開発）
b3 電気 製造技術者（開発）
b3 化学 製造技術者（開発）
b3 その他の製造技術者（開発）
b4 機械 製造技術者（開発除く）
b4 電気 製造技術者（開発除く）
b4 化学 製造技術者（開発除く）
b4 その他の製造技術者（開発除く）
b5 建築・土木・測量技術者
b6 情報処理・通信技術者
b7 その他の技術者
b8 教員（幼稚園）
b8 教員（小学校）
b8 教員（中学校）

b8 教員（高等学校）
b8 教員（中等教育学校）
b8 教員（高等専門学校）
b8 教員（短期大学）
b8 教員（大学）
b8 教員（特別支援学校）
b8 教員（その他）
b9 医師・歯科医師
b9 獣医師
b9 薬剤師
b10 保健師・助産師・看護師
b11 医療技術者
b12-1 栄養士
b12-2 その他の保健医療従事者
b13 美術・写真・デザイナー・音楽・舞台
b14 その他の専門的・技術的職業
c 事務従事者
d 販売従事者
e サービス職業従事者
f 保安職業従事者
g1 農林業従事者
g2 漁業従事者
h 生産工程従事者
i 輸送・機械運転従事者
j 建設・採掘従事者
k 運搬・清掃等従事者
左記以外